

七条中学校だより10月15号

京都市立七条中学校

令和8年10月22日

発行:校長 林 秀雄

2050年の君たちへ1 人口が減る時代に、一人ひとりが輝く社会へ

現在、北陸新幹線は敦賀まで開業していますが、今後は京都・新大阪まで延伸される計画が進められています。完成は2050年代半ば以降と見込まれており、京都と北陸、そして全国各地とのつながりがさらに広がるのが期待されています。完成までにはまだ時間がありますが、新しい交通網によって人や物の流れが変わり、私たちの暮らしや社会も大きく変化していくことでしょう。皆さんが大人になる頃には、今とは違った便利さや新しい働き方が当たり前になっているかもしれません。未来を想像すると、今からとても楽しみになります。

さて、そんな未来に関連して、皆さんに考えてほしいことがあります。突然ですが、皆さんは24年後の2050年の日本を想像したことがありますか。今の1年生は38歳、2年生は39歳、3年生は40歳前後となり、社会や地域を支える中心世代になっています。2050年は決して遠い未来ではなく、皆さん自身が日本の未来を担っている時代なのです。

データで見る2050年の日本 【1970年と2050年の人口構成比較】

<1970年>

○総人口：約1億370万人

○65歳以上：約7%

○若年人口：約24%

<2050年>

○総人口：約1億190万人

○65歳以上：約38%

○若年人口：約11%

左の資料を見ると、1970年と2050年では総人口そのものは大きく変わらないように見えます。しかし、本当に大きく変化するのは人口の「中身（比率・構成）」です。1970年には65歳以上の高齢者は約7%でしたが、2050年には約38%になると予測されています。一方で、子どもの割合は約24%から約11%へと減少します。つまり、社会を支える現役世代の割合が少なくなり、多くの高齢者を支える時代になるのです。

もし100人の村で考えるなら、1970年には69人ほどの働く世代が7人の高齢者を支えていました。しかし2050年には、51人ほどの働く世代で38人の高齢者を支える社会になります。

ります。この変化は、医療や介護、地域活動、公共サービスなど、さまざまな場面に影響を及ぼすでしょう。そのため、学校や病院、介護、農業、運送業、企業など、さまざまな分野で人手不足が課題になると予想されています。しかし私は、この変化を決して悲観的に捉える必要はないと思っています。なぜなら、これからの社会では、一人ひとりの存在や役割がこれまで以上に大きくなるからです。1970年は多くの働く人たちが社会を支えていました。しかし2050年は、一人ひとりが担う役割がより重要になります。だからこそ、皆さんの力や個性、発想が社会を支える大きな原動力になるのです。

皆さんが大人になる頃には、AIやロボットの技術もさらに進歩しているでしょう。AIは膨大な情報を処理したり、仕事を効率化したりすることは得意です。しかし、「どのような社会をつくりたいか」「人々が幸せに暮らすためには何が必要か」を考え、新しい価値を生み出すことは人間にしかできません。また、異なる立場の人々をつなぎ、地域や社会をよりよい方向へ導くことも、人間ならではの大切な役割です。

これからの時代に求められるのは、課題を見つける力、新しいアイデアを生み出す力、他者と協力する力、多様な考え方を受け入れる力、そして挑戦し続ける力です。人の気持ちに寄り添い、仲間と力を合わせながらよりよい社会をつくることは、AIには代わるることのできない人間の大切な役割です。

実は、皆さんはすでにその力を学校生活の中で育んでいます。生徒会活動や学校行事、部活動、委員会活動などで仲間と話し合い、協力しながら課題を解決する経験は、未来の社会で必要となる力そのものです。七中祭への取組や体育の部での協力、学級づくりの工夫など、一つ一つの経験が将来につながる大切な学びとなっています。学校での挑戦や失敗、仲間との対話を通して身に付ける力は、教科書だけでは学べない貴重な財産になるはずです。

2050年は、「誰か優秀な人が社会を支える時代」ではありません。一人ひとりが自分らしい力を発揮しながら社会を支える時代です。だからこそ、日々の授業で知識を身に付けることはもちろん、自分の考えを伝えること、相手の意見を聞くこと、失敗を恐れず挑戦することが何より大切になります。人口構成の変化は避けることができません。しかし、その社会をどのようなものにするかは、これから生きる皆さん次第です。「誰かが社会を支える」のではなく、「私が社会を支える一人になる」。そんな意識を大切にしながら、自分の可能性を広げていってほしいと思います。

最後に、皆さんに問いかけます。「2050年、人口構成が大きく変化した社会で、あなたはどんな力で社会に貢献したいですか。」未来をつくるのは、ほかの誰でもない、皆さん自身なのです。

裏へ

行事で得た力を、これからの毎日に

七中祭をはじめとする大きな行事が終わりました。皆さんが見せてくれたエネルギー、仲間と協力して一つのものを創り上げる姿、最後までやり切ろうとする姿勢は本当に素晴らしいものでした。しかし、学校行事の本当の価値は、行事が終わった後にあります。行事で発揮した力を、これからの学校生活にどう生かしていくかが大切です。

まず、大切にしてほしいのは授業です。合唱や体育の部では、「もっと良くしたい」「できるようになりたい」という思いをもって練習を重ねました。授業も同じです。毎日の授業は、自分の可能性を広げるための大切な時間です。一時間一時間を大切に、先生や仲間の話に耳を傾け、自分の考えを深めてほしいと思います。行事で見せてくれた集中力や主体性を、ぜひ授業でも発揮してください。

次に、家庭学習を大切にしてほしいと思います。行事の成功は、一日で生まれたものではありません。毎日の練習や準備の積み重ねがあったからこそ、本番で力を発揮することができました。学習も同じです。定期テストや進路実現に向けて大切なのは、特別な一日ではなく、日々の積み重ねです。毎日少しずつでも机に向かう習慣を続けることで、必ず大きな力になります。

そして何より、仲間とのつながりを大切にしてください。行事を通して、互いに励まし合ったり、時には意見をぶつけ合ったりしながら、一つの目標に向かって取り組んできました。その中で深まった絆は、皆さんにとって大切な財産です。授業や学級活動、部活動など、普段の学校生活の中でも、相手を思いやり、認め合い、支え合う関係を大切にしてください。

授業を大切にすること。家庭学習を大切にすること。仲間とのつながりを大切にすること。これらは特別なことではありません。しかし、この当たり前を積み重ねることが、皆さんの成長につながります。七中祭で見せてくれた素晴らしいエネルギーを、これからの日々へつなげてください。一日一日の授業、一回一回の家庭学習、一人ひとりとの関わりを大切に積み重ねながら、自分自身の未来を切り拓いていってくれることを期待しています。